



2026年4月3日

各 位

会 社 名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン
 代 表 者 名 代表取締役社長 成宮正一郎
 (コード番号：6093 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 取締役 管理本部担当 太田昌景
 (TEL. 03-6703-0500)

通期業績予想と実績値との差異及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ

2026年2月期第4四半期連結会計期間において、貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）を計上したことにより、2025年4月4日に公表しました2026年2月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年2月期通期連結業績予想と実績値との差異について

(2025年3月1日～2026年2月28日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表数値 (A)	5,435	477	484	355	8.14
実績値 (B)	5,078	323	316	189	4.35
増減額 (B-A)	△357	△153	△167	△165	
増減率 (%)	△6.6	△32.3	△34.6	△46.7	
(参考) 前期実績	4,741	482	486	349	8.00

2. 差異が生じた理由

当社を取り巻く環境においては、土地価格や建築コストの上昇が継続しており、都市部での住宅価格は高騰しています。また、インターネット専業銀行において預貸率の改善のため、住宅ローンの取扱い件数が低下する等、当社の取引先においても厳しい環境が続きました。

こうした状況のなか、一部の取引先に対して貸倒引当金繰入額100百万円を販売費及び一般管理費に計上したことにより、2026年2月期の通期業績につきましては、連結業績予想の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益（当期純利益）が、2025年4月4日に公表いたしました業績予想を下回ることとなりました。

なお、期末配当につきましては、1株当たり6円00銭から変更はございません。

3. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）の計上について

昨今の金融経済情勢を踏まえ政策金利の引き上げも見込まれるなか、インターネット専業銀行による住宅ローン取扱い件数低下の影響によりキャッシュフローの悪化が懸念される一部の取引先について、相手先の経営状況及び財務状況を踏まえて売掛債権の回収可能性を慎重に検討した結果、100百万円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期	期末	年間
当期実績		6円00銭 (普通配当 6円00銭)	6円00銭 (普通配当 6円00銭)
前期実績 (2025年2月期)		6円00銭 (普通配当 6円00銭)	6円00銭 (普通配当 6円00銭)

以上